

通木

Komorebi Tsushin

信もれ日

第6号

平成13年9月

つきだて花工房発
季刊誌

〒960-0903 福島県伊達郡月舘町大字下手渡字寺窪7
TEL024(573)3888 FAX024(573)3887
E-mail: hanakobo@safins.ne.jp
休館日/毎月第1、第3次曜日(休館日の前日は17時まで営業)

つきだて花工房は木もれ日のようなぬくもりと
やさしさを持ち続ける皆様の公共施設をめざします。

花のアルバム

アルバム
の6ページ

待宵草
の花

吹く風は秋。
澄んだ空に浮かぶお月さまが
いつそう美しい季節です。
月あかりの下では
虫たちの演奏会
そつと耳をかたむければ
忘れかけていた
至福の時間が流れています。



移ろいゆく季節の中で、秋はこの
ほか「月」が美しい季節です。そしてそ
の月の出を待つて咲き始める花に「マツ
ヨイグサ」があります。鮮やかな黄色
の花は宵闇の中で咲き、明け方にはし
ぼんでしまうので、道ばたで見かける
ときは雑草のようで残念です。一般に
月見草と呼ばれていますが、「ツキミソウ」
は白い花が咲く、まったく別の花で、現
在はほとんど栽培されていません。待
宵草という名前の由来は、まん丸い花
弁の一端にちよと窪みのあるところが、
十五夜の待宵月ぐらだからとも
言われています。



道ばたに咲いた待宵草

●宵待草

「待てど暮らせど来ぬ人を、宵待草
のやるせなき。今宵は月も出ぬぞうな」
と歌い流行した「宵待草」は、明治の
終わりから昭和初期にかけて活躍し
た詩人、竹久夢二の作品です。やる
せない感傷を歌った曲は独特な美人画
と重なり合い、今でも大正ロマンを感じ
させる代表作。この宵待草はオオマツヨ
イグサを見て作った作品といわれます。
ひとまわり花の小さいメマツヨイグサの

種子からとれる油は、保護膜のように
皮膚を守り、保湿作用に優れ、アレル
ギー症状に効果があることで「月見草油」
と呼ばれています。

●やさしい工房始動

あちらこちらで農産物の直売所が
目立ち、好評を得ているようです。「新
鮮で安く、安心して食べられる。もちろ
ん味も「二重丸。」消費者と生産者には
自然と信頼関係が築かれるようです。
さて、つきだて花工房の玄関先でも「や
さい工房」と銘うって、農産物の直売が
始まりました。地元の方々が、朝
取り野菜やくだものに、自分の名前を
貼って持ち寄り販売しています。福島
市からお泊りにみえたお客さまは、早
速やさしい工房に向かいました。

「固い梅干しが好きなの」
「じゃ、明日持つてきますよ」
「ホントーうれしい。」

会話の中で生まれるよりよい関係は、
無言で大型店のレジに行列するのは
違う、人間味あふれる光景でした。(や
さい工房は、土曜日・日曜日・祝日に営
業しています。)



やさしい工房の販売風景

2001年・夏の笑顔 in つきだて花工房

夏休みの主役はやっぱり子どもたち。みんな好奇心いっぱい、元気に輝いて、そこには大切にしたい笑顔がありました。
ありがとう!2001年のなつ……

少年時代

家族で入浴に来てくれたハルカ君は、お父さんと一緒にキッチンガーデンで昆虫採集をはじめました。早速バッタをゲット!「せつかくお風呂に入ったのだいじょうぶ?」などと考えるのは: 大人だけです。少年の心は好奇心でいっぱいです。



少年・ハルカ君

岩内団地子ども会

子どもたちにとって夏休みといえば、プール・ラジオ体操・林間学校、そして



岩内団地子ども会

なんといつても楽しみなのは子ども会の行事。今年は、月館町・岩内団地のみなさんが、つきだて花工房に泊まってくれました。はじけんばかりの笑い声で盛り上がりだしたのは、すいか割り。「もつと左、左!」とお父さん、お母さんも童心に返り、子どもたちといっしょの時間を楽しんでいました。

シャボン玉ホリデー

シャボン玉はどこか優しくて夢があります。シャボン玉をする子どもたちを見ていると、シャボン玉に純粋な子



シャボン玉ホリデー

どもの心が映っているよう。その光景が美しい夏の夕暮れでした。♪シャボン玉ルルルルルルルルルルルルルルルラララ ララララ: ロマンティックな夢ね丸いすてきな夢ね: まさにシャボン玉ホリデーでした。

もりもり 体験報告

「夏休みの子ども会で利用したいのですが、周辺で遊べたり、なにか体験ができること、ありますか?」
今年3月、滝野子ども会の畑中様より、お電話が入りました。
「もりもり体験はいかがでしょうか?」
「もりもりメニュー」

滝野子ども会のみなさまの「もりもりメニュー」

- 1、絵手紙教室(大切な人にお便りを出しましょう。)
- 2、野菜クイズ(この葉何の葉、わかるかな?)
- 3、農業体験(野菜と)あいさつ。収穫と試食)
- 4、昼食(つきだて花工房の収穫祭弁当を大広間で)
- 5、昼食後、つきだて花工房を出発。月見館森林公園へ移動。

5、自然探索(森の散策・小川で水遊び・丸太遊具)

以上が、滝野子ども会のみなさまの「もりもりメニュー」です。後日、畑中様よりうれしいお便りが届きました。
「先般は、もりもりたくさん楽しかった。楽しい計画を立てていただき、子どもはもちろん、



大人たちもみんな、よい夏の思い出になると喜んでおります。」

お客様の言葉に勇気づけられながら、つきだて花工房では、これからも、身近にある田舎の宝物を通して、心と心が通い合う体験メニューを提案させていただきます。

(*もりもり:もりは森であり、支えあいそして多くの動植物が生活し、それが増えていくの意)



滝野子ども会のみなさまの「もりもり体験」





手入れのされた桑園(月館町上手渡)

今、消えかけようとしている産業が
この町を築いてくれたことを心にとめておきたい…。

おかいこさまの話をきかせて。桑を知る

連載 vol.2

養蚕業は、良い桑園づくりと丹念な桑園の管理から始まると言われます。良い桑を短時間のうちにいかに多く収穫できるかが養蚕の一番のポイント。良い桑をたくさん食べればおかいこさまが大きくなり、繭も大きくなるわけです。

桑とは、クワ科クワ属の総称。広く畑や山地に植えられている落葉高木で、大きいものは高さ10m、直径は60cmにもなりますが、畑のものは、絶えず刈り取られるので低木化しています。しかし、近年の養蚕業衰退で、手入れの行き届いた桑園を見ることはまれになりました。

消えかけようとしている桑と桑園。近年その桑の研究が進められ、結果、桑には現代病とも呼ばれる、生活習慣病(成人病)を予防する素晴らしい効能があることが発見されました。

山神様からのおくりもの

月館町の桑園面積は45ha、そのうち使用している桑園はわずか7haにすぎず、転作もかなわずに、手つかず状態です。

養蚕農家はますます減少するだろうといわれる中、桑の葉が「体によい」ことで注目を浴びています。「おかいこさまの話をきかせて」連載の2回目は、山の神様からの贈りもの「桑」についてのご紹介です。

おかいこさまの食べる桑の葉には、高血圧、高血糖、高コレステロールを抑制、制ガン効果のある成分があり、桑の実には環境ホルモンに抗するといわれている亜鉛も多く含まれています。(余談ですが、桑の根の皮には発毛促進効果があるそうです)。養蚕業を通して、人々の生活を支えてきた桑が、今あらたに注目され始めました。今やおかいこさまのスペシャルフーズは、人間にとってもスペシャルな食べ物になってきたわけですね。それは山の神様から、現代の人々への、とっておきの贈りものなのかもしれません。

(1996年に神奈川県「科学技術政策推進委員会」が発表した「機能性食品における共同研究事業報告」から引用)



ランチメニュー(小手姫定食) 850円
けんちん風桑うどんと桑の葉ごはんのセット

つぎだて花工房の桑商品



売店にて販売中
カルシウムは牛乳の27倍
桑パウダー………800円

ゆったり急がない旅をしてみませんか!

●秋の里山を歩く
10月になると紅葉前線が南下開始。つぎだて花工房から眺める阿武隈の山並も錦色に变身です。月館町の紅葉の見ごろは10月中旬から11月初旬。

つぎだて花工房をベースキャンプに、オススの低山をご紹介しましょう!

女神山 599メートル(月館町川俣町)

登山口は3つ。カエテクヌギコナラなどの雑木林を、自然観察しながらゆくりと歩くのがおすすめです。二等三角点が立つ山頂は360度の眺望がみごと。運がよければ、吾妻小富士(切経山)や、安達太良山、蔵王連峰も望めます。

霊山 809メートル(霊山町)

登り始める個性的な岩の連続で、自然の不思議を感じます。日磐岩入り口辺りから北西に広がる国司沢は霊山のなかでも随一の景観を誇るといわれる所。晩秋は黒を基調とする岩肌と色づく広葉樹、深緑の針葉樹のコントラストが見事です。コース中には岩場が多いので、通過には要注意!



花塚山 919メートル(川俣町)

花塚山探勝路は、峠の森自然公園、花塚山頂、花塚の里ちびっこ広場を結ぶ、延長7200mの歩道です。急な坂道には木の階段、見晴らしの良いところには展望台、休憩所、案内板も充実しています。「峠の森公園」にはバンカーや炊事施設もあり、山全体が観光の拠点になっています。※マナーを守って楽しい山登り。

つぎだて旅日記・郷土篇 興味ある郷土名

神奈川県・高井隆一様

「月」を宇宙の尺度でとらえれば天体のひとつの物体になってしまつて、実もふたもありませんが、万葉のむかしから人々に親しまれ愛しつづけられてきました。「榮枯は移る世の姿、写さんとてか今もなお、あ、荒城の夜半の月」およそ100年前、土井晩翠氏の作(4節の1章を拝借転記)。近年に至り「月」を題材に詞歌が多発し、この業界では月と酒と泪が定番になっているそうです。ひるがえって「小手姫の物語」で売り出したのが郷土は「月の館」と書き表されており、地名の由来はさて置き、永久に輝き続けてほしいものです。

月館町東方にそびえ立つ「最登山」(682.9m)の斜面に、巨大な人面岩(花こう岩質)があることが、地元の登山愛好者によって発見されたと聞きました。1999年12月6日付の朝日新聞朝刊全国版にこの記事を見つめました。人面岩は斜面上を見上げているように見えるところから、「宇宙人が地球の美しさに見とれて、宇宙船に乗り遅れ、石になつてしまった」という、月の名を持つ町らしいストーリーを思い描いている、と紹介されています。この話を思い起こしながら、帰郷の際には、実態の確認がらロマンの気配に、そつと触れてみたいものだと思うようになってきました。

INFORMATION

公共の宿つぎだて花工房

- 宿泊料金/1泊2食¥6,500〜税込(一部屋にお入りいただく人数によって料金が変わります)
- 宿泊部屋/和4室、洋2室収容32名
- チェックIN・OUT/チェックイン16時・アウト10時
- 休館日/第1・3火曜日
- 宿泊備品/浴衣・タオル・歯ブラシ
- 施設/会議室・大広間・ラウンジ
- 駐車場/40台 ●オープン/1996年
- その他/日帰り入浴10時から18時(大人300円・小学生150円)
- 和室ご休憩11時から15時(お一人様1時間につき300円)
- 予約/約6ヶ月前から受付
- 交通/福島駅から鶴馬場経由川俣ゆき約50分
下手渡下車・東北自動車道福島西インターから約30km・飯坂インターから約28km

Hana

「はなくらぶ」は皆さまとつきだて花工房をつなぐページです。お便り・情報など何でもお気軽にお寄せください。お便りお待ちしております。

言葉を超えた交流を込められた思い

アメリカ合衆国リビア市と、月館町との国際交流は、今年で7年目を迎えました。今年もリビア市の中学生たちが月館町で思い出の夏を過ごしました。月館町教育委員会の齋藤勇二さんにお話を伺います。

Q 交流のきっかけは何ですか。

A 「私の出身地に来てください」英語指導助手として2年間月館町で暮らしたケリー先生の話が始まりました。これまで5回の派遣と、4回の受け入れが行われ、今回は記念すべき10回目の交流会となりました。

Q 交流で得られるものは？

A それぞれの国の文化や歴史、自然、生活習慣を肌で感じ、交流の中から感動と多くのことを学ぶことにより、日本そして月館町を新たな視点で見つめることができると思います。

Q 言葉の苦労はありませんか。

A ないといったらうそになるでしょう。しかし子どもたちは積極的に話し、あつという間にコミュニケーションがとれるようになり、そしてそれぞれに英語と日本語のおもしろさがわかって、もつとと話せるようになっていこうと努力するようですよ。

Q 今年もファイナルは盆踊りでしたね。

A 毎回、楽しみにしているようです。ゆかたやほろを着ると気分も日本調になるのか、踊る姿もなかなかのもの。太鼓にも大変興味を持ちますね。これが私たち日本の文化なのだ、と、あらためて教えられようですよ。

Q 今後の交流は？

A 関係者の皆さんの理解ある協力と温かい支援があつて、これまでの交流が続いていると思います。現在大阪に住んでいるケリー先生には、今後もリビア市と月館町のパイプ役を努めていただいております。その熱意と応援には、このほか感謝しています。「ホームステイで学んだことは、言葉では通じなくても心は通じ合えるということ」。交流に参加した生徒のことばです。子どもたちの友情と感動する心が、多くの人々を動かし、さらなる交流が行われていくことを望んでおります。

和太鼓にチャレンジ ▶



納涼盆踊り大会で記念撮影

お便りコーナー



東京都・若松倫夫様のスケッチ
ホームページアドレス <http://www.big.or.jp/~wakamatu>

花 「わあー」届いた郵便物を開いてスタッフ全員でため息。私たちのホームグラウンドをこんなにも美しく描いてくださってありがとうございます。ついつい当たり前になってしまう自然の美しさを忘れかけたとき、教えてくれるのはいつもお客様だと、感謝しているスタッフです。

私 たちの子どもは幼稚園より仲良くしている仲間ですが、皆、小学校が違うので、毎年夏休みに旅行をして再会を楽しんでいます。今年はずきだて花工房で実に楽しく良い思い出ができました。公園までの送り迎え、食事のお世話、そしてクワガタ虫を探ってくださったおじさま、夜おそくまでつきあってくれてありがとうございます。(橋本グループ 同様：宮城県)

花 自然がいつばいの花工房でも、虫かごを持って楽しく走り回る子どもたちをなかなか見かけることができない昨今、元氣なお子様たちは、年に一度の再会とは思えないほどの仲良しぶり、ほほえましく拝見しておりました。ご家族を交えての友情がいつまでも続きますことをお祈りいたします。

ちよと季節のものがたり
月に祈りを...お月見

農耕民族である日本人の月見の原型は、月を神に見立て、稲の豊作を祈る行事だったそうです。十五夜にあたる中秋は里芋が収穫される時期なので別名「芋名月」といわれ、後の月と言われる十三夜は「栗名月」「豆名月」と呼ばれます。十五夜に準備するもの：①お団子②芋類③すすき。十三夜に準備するもの：①お団子②栗



③季節の収穫物。ぶどう、さげなどの蔓ものは「蔓は万年に続く」としてお月見には欠かせないものです。少しずつ忘れられている行事に込められた想いをもう一度振り返り、澄んだ夜空に浮かぶ名月をぜひお楽しみください。今年の中秋の名月は10月1日、後の月は10月29日です。

INFORMATION

● 小手姫の里秋まつりの開催
11月10日・11日の2日間

● 月館町公民館前駐車場にて
詳細はTEL024(572)2111

● つきだて花工房、年末年始も営業いたします。お早めにご予約を。
月館町役場産業課まで

● (大晦日と元日はお風呂のみの営業です。) 詳しくはつきだて花工房までお問合せください。

● ムーンセミナー 絵手紙教室・受講者随時募集中。
お問合せ先 つきだて花工房



実りはじめた稲の穂 コシヒカリ

編集後記

月でうさが餅つきをしているという話を信じていたのは、いつ頃までだったか定かではありませんが、宇宙への旅が現実になった今では、ロマンを話す大人も、それを信じる子供も確実に少なくなりました。

過日のマンハッタンでの大惨事も、通信衛星からのリアルタイム映像により、私たちもその悲劇をまのあたりにすることとなりました。事件報道の翌日、我が町はいつも通り、平和な朝を迎えました。高く澄んだ空にはゆうゆうと雲が流れ、薄紅のコスモスが風に揺れていました。稲の穂が頭を垂れはじめ、実りの時期はもうすぐです。のどかな田舎の風景が、衝撃的な事件と対照的すぎて、やけに胸をしめつけました。(佳代)

ムーン

月の明りで疲れた心を癒したい。
セラピー

いますぐカレンダーにチェック!!

[新月の夜]	[満月の夜]
10月17日(水)	10月28日(火)
11月15日(木)	11月1日(木)
12月15日(土)	12月1日(土)